

教科名〔 英語 〕

科目名	単位数	学年・組	担当者名
英語	2単位	3学年1～6組	*

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>ことばと人間との関係やことばと社会との関係など、広くことばへの関心を高め、豊かな言語観を育てる。</p> <p>ことば、文化、民族の多様性とその共存、自然と人間との共生を国際理解の基本理念とし、国際感覚の育成と国際協調の精神の育成を図る。</p> <p>英語の基礎的・基本的な知識や技能の習得を目指す。</p>
使用教科書・副教材等	<p>三省堂「VISTA English Series Step Two」</p> <p>啓隆社「OASIS 1」</p>

2 学習計画及び評価法等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 1. 学習活動の特記事項 2. 副教材の使用など	考查範囲	評価の観点のポイント				
						態度	関心・意欲	思考・判断	技能・表現	知識・理解
第1学期	Lesson 1 Come Back Again	4 ・ 5	・小笠原の最大の島、父島で行われているアオウミガメの人工孵化放流を取り上げ、自然保護について考える。	・不定詞 ( seem to do ) ・現在完了の受身 ( have been done )	第1学期中間考查					
	Lesson 2 Friedensdorf International  (OASIS 1) Lesson 12		・「ドイツ国際平和村」を私たちに紹介した女優、東ちづるの話を通して、現代の問題を考える。	・関係副詞 ( Where, When )						
	Lesson 3 Nunavut  (OASIS 1) Lesson 13	5 ・ 6 ・ 7 ・ 8	・イヌイットの歴史や、彼らの暮らす土地に触れながら、先住民族として初めて実質的な独立自治権を獲得した彼らの開かれた将来について考える。	・倒置 ( So do I ) ・分詞構文	第1学期期末考查					
	Lesson 14		・話の要点を聞き取る。	・不定詞						
	Lesson 15		・話の要点を聞き取る。	・不定詞						
	Lesson 16		・手紙文を聞き取る。	・分詞						
第2学期	Lesson 4 Sushi	9 ・ 10	・日本文化について、より理解を深めながらそれを外国の人に発信する。	・動名詞	第2学期中間考查					
	Lesson 5 My Favorite Musician		・ソロ・パーカッショニストのエヴェリン・グレニーが何故自分は「障害」があるとも、「克服」したとも考えていないのかについて考える。	・進行形の受身 ( is being done ) ・仮定法過去 ・知覚動詞 ( hear + O + done )						

	( OASIS 1 ) Lesson 17		・ 天気を聞き取る。	・ 関係代名詞					
	Lesson 6 Nazca Lines		・ ナスカの地上絵は何を表しているのかを考えるとともに、その謎を解くことに取りつかれたドイツ人女性マリア・ライへの研究と保護活動について知る。	・ 関係代名詞 ・ Some ~,Others	第 2 学 期 期 末 考 査				
	( OASIS 1 ) Lesson 18	10	・ 話者の意図を聞き取る	・ 形容詞と副詞					
	Lesson 19	11	・ 会話に続く応答文を選ぶ	・ 比較					
	Lesson 20	12	・ 話の状況・場面を聞き取る	・ 比較					
	Lesson 21		・ 話の要点を聞き取る	・ 接続詞					
第 3 学 期	ENJOY READING The Tale of Bedd Gelert  ( OASIS 1 ) Lesson 22	1	・ 飼い主と獵犬にまつわる悲しい民話を音読して、登場人物の気持ち、クライマックスの緊迫感を味わう。  ・ 会話に続く応答文を選ぶ	・ 朗読  ・ 前置詞	学 年 末 考 査				
<b>【 1 ・ 2 ・ 3 学期における課題・提出物等】</b> 本文についての英文・訳・説明などを書き加えたノート。 課題プリント。									
<b>【 1 ・ 2 ・ 3 学期における評価方法】</b> 定期考査。 授業への取り組み姿勢。 ノート提出、課題プリント提出など総合的に評価する。									